

平成23年度 薩摩川内市事務事業評価表

1 事務事業の位置付け(Plan)				内部評価者名 課長・室長・支所長	阿久根森喜
事務事業名	少年自然の家維持補修費(工事請負費)			担当者	田中 守
所管部課名	教育部 少年自然の家			事業の根拠 (根拠法令)	
事業の種類	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文 化のまちづくり	主要施策 (節)	青少年の健全育成
				施策 (項)	青少年の健全育成
予算科目等	会計	一般会計		款	教育費
	項	教育費		目	少年自然の家費
	事項	少年自然の家管理費		細事項	少年自然の家維持補修費

事業の概要

少年自然の家に在る冒険の森は、開所以来当施設の目玉施設として、利用者に人気がある。23施設の内経年劣化で、安全性が保たれない施設は、全面改修を予算化している。平成22年度は「冒険の森人間ロープウェイ」と「冒険の森すべり台」の改修を行った。

2 事務事業の実施 (Do)

事業の内容	対象 (誰を、何を対象とする事業か)	少年自然の家冒険の森にある23施設		事業開始年度		平成20年度		
	手段 (市がどのような活動をするか)	活動施設の維持補修・全面改修		活動指標 (市として何をを行うか?)	指標名	安全性を確保する		
					最終目標値	野外活動施設が常に安全性が確保されていること		
	意図 (どのような目的で事業を行うか)	施設利用者の安全を確保する		成果指標 (活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	指標名	安全性を確保する		
最終目標値					野外活動施設が常に安全性が確保されていること			
コスト・指標の推移	項目	単位	平成21年度 決算	平成22年度 決算	平成23年度 (見込み)	平成24年度 (見込み)	平成25年度 (見込み)	
	事業費	国・県支出金	千円	0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		1,289	4,544	4,454	5,000	5,000
		合計(A)		1,289	4,544	4,454	5,000	5,000
	従事職員数	人	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
	人件費(B)	千円	160	160	160	160	160	
	従事嘱託員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費(C)	千円	0	0	0	0	0	
	トータルコスト	千円	1,449	4,704	4,614	5,160	5,160	
活動指標の推移								
成果指標の推移								

事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)

工事請負費
 H22 冒険の森人間ロープウェイ改修工事 2,113,000円
 H22 冒険のすべり台改修工事 2,431,000円
 H23 冒険の森丸太はしご改修工事(予算) 2,359,350円
 H23 浴室混合栓取替工事 2,095,380円

3 事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	対象・手段の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある <input type="checkbox"/> 妥当でない 利用者の安全性の確保のために、必要性が高い。
	市が関与すべき妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき (上記選択の理由) 市立少年自然の家であるため、市が直接管理し、運営している。
効率性	事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 施設の維持管理費費は、経年老朽化への対応と利用者の安全を確保するため削減の余地はない。老朽化が著しくならないよう、職員作業によるメンテナンスを実施していく。
	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 嘱託員の施設管理補助員は、現在1名配置されているが、今後も必要である。
有効性	成果の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> かなり高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い (上記選択の理由) 常に安全に使用可能な状態を保つことが重要である。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない (上記選択の理由) 利用者の安全確保のため、毎月の安全点検で危険箇所をチェックし、危険箇所は速やかに職員で対応する。
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価 (一次)	内部評価結果
	今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	上記方向の理由 利用者の安全性の確保の面から施設の維持補修に係る経費は欠かせない。
	改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画 年間を通じ、毎月1回安全点検を実施し、職員作業により利用に支障ないように、改善している。大規模補修や、専門的な技術を要する箇所については、予算要求して改善していく。
内部評価 (二次)	外部評価結果
	事業の視点別評価 妥当性 <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input checked="" type="checkbox"/> 低い 有効性 <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い
	今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	外部評価結果のまとめ 中長期的な保全整備計画の検討 国県補助制度活用による施設整備の財源確保